

読書バリアフリー研究会 アンケート回答（2019_12_15 長崎会場）

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 72、アンケート回収 55

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	5	長崎新聞 1、広報おおむら 1
ちらし・DM	25	
友人・知人の紹介	16	
ウェブサイト・ブログ	4	県立図書館 HP 2、当財団 HP 1
メールリスト	0	
その他	5	図書館 2、職場 1、学校 1、母の紹介 1
合計	55	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
42	13	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・四講座、どの講座も興味を持って受けることができました。読書バリアフリー法が制定されたことも知らずにいたので、今回たくさんのお話を学んだことを生かせるよう、仲間とも共有していきたいと思えます ・読書バリアフリー法は今後市町の図書館が基本計画を策定していくことになるため、まず理解したい、勉強したいと参加しましたが、とって学びが深く進めました！これから行うべきことが増えました。有意義な時間をありがとうございました。 ・河野先生のお話は以前も聞く機会がありましたが、新しい知識を聞いて良かったです。また点字について新しいグッズの情報を得ることができました。短い時間でしたがさまざまな情報をありがとうございました。 ・発達障害、知的障害について研究者の方から具体的にお話を聞く貴重な機会でした。公共図書館で今後サービスを検討する上でとても参考になりました。 ・学校図書館に勤務しており、どんな子にもいろいろな本を読んで欲しいといつも思っています。その本を届ける(読んでもらう)ための方法がいくつもあることを知ることができ、明日からも自校ですぐできるようなことがあると分かったのも収穫でした。こんなに本をめぐる状況が進んできたんだなあ嬉しくもなりました。 ・小中の学校図書館の司書をしており、本を読むことに困っている子どもたちに何か支援できることはないかと思い参加いたしました。講師の方々のお話の中からヒントをたくさんいただきました。学校で実践させていただきます。このような機会を与えていただき感謝します。 ・読み書き障害の話がすごく分かりやすかったです。「別の道具を使えばよい」との説明で、ストンと心に落ちました。そのための電子図書、私自身がまず勉強して触ってみて子どもたちの本との出会いを保障してあげたいと思いました。

- ・現在病棟の生徒さんの授業を毎日行っています。視力の状態ははっきり分かっていません。その生徒さんに絵本の読み聞かせを行っていくうち、口を動かしたり、指先を動かしたり、応答してくれるようになってきました。その生徒さんにとって好きなものが増え、お母さんに読んでもらって兄弟さんたちと一緒に楽しめるようになって欲しいなと思っています。今日の研究会で教えていただいたことを生かしてさらにいろいろな「好き」を増やしたいと思います。
- ・来年度から大学で図書館情報学などを学びます。とても勉強になりました。図書館の支援（特にマイノリティである障害者など）を知ることができました。自分が持っていない視点だった。
- ・ほとんど予備知識のない状態での参加だったが、概念というか、考え方の説明から具体的なアプリの紹介まで、とても面白いと思える内容だった。買う権利、借りる権利を保障するために、図書館司書でも、特別支援教育に携わっているわけでもない私にも、情報を提供し、ともに調べたり考えたりして取り組めることがあると思った。
- ・読書バリアフリーについて、具体的な情報を得ることができました。今回学んだことが広まり、図書館を利用できる人が増えると良いと思います。そのために、自分の周りの人に伝えていきたいと思います、1日ありがとうございました。
- ・学習障害、知的障害の実例について学ぶ貴重な機会をいただけた。違いについても理解ができた。LLブックなど、どうやって使うのか知ることができた。知的障害と生活年齢についてよくわかった。バリアフリー資料について現状を具体的に知ることができた。求めている人に、求められているものを広める、届ける（人も）支援が大切だと感じた。
- ・今回の研究会では、これまで知識として勉強していた障害者サービスのことについて、実際の取り組みなどを見せていただきながら、より実践的な内容を学ぶことができてました。すごく分かりやすかったです。自分の働く図書館ですぐマネできることがありましたので、さっそく持ち帰って職場に共有したいです。
- ・研修会を公共図書館で開催されたことに満足しています。参加の有無は別として、広く知られることになり、良いと思います。
- ・内容、講師に大変満足しています。難しい内容を大変分かりやすく、シンプルにお話しいただき、理解が深まりました。困っている子どもの代弁者としての根拠を自信をもって伝えられるアセスメントの確認ができました。
- ・LDの研修はこれまでも受ける機会がありましたが、読書、図書館利用の視点から学べたことが良かった。読むことをあきらめたり、読みたいと思っていないのではという誤解をせずに、「権利」をどう保障していくかの大切さを学ぶことができた。学習にもコミュニケーションにも「語彙」の豊かさが大きく影響するため、求めに合った読書のための配慮についてさらに知りたくなった。
- ・今まで疑問に思っていたことが解決しました。特別支援の子どもたちにどんな本（媒体）を用意したらいいのか、読むことに困りごとを抱えている子にどんな支援をしたり、道具を用意したらいいか、などとてもためになりました。
- ・長崎市立小学校で司書教諭兼通級指導教室を担当しています。定義（知的障害と学習障害）をしっかりとおさえることができました。
- ・あたり前に図書館を利用できることが、あたり前ではない現実があることを教えていただきました。法的にも定められていることにのっとり、速やかに環境整備や支援など自分が取り組めることはないか考えてみたいです。
- ・学習障害について具体的なお話があり、よく分かりました。障害を理解しないとサービスを届けることができないと感じました。
- ・それぞれの分野の講師が専門性を生かした話をしてくださったので、読書バリアフリーに関する理解が深まりました。とてもためになる企画でした。
- ・講師の方からたくさんとても有益な知識や情報を聴かせていただくことができました。今後もぜひ開催される際は参加させていただきたいです。

- ・図書館での障がい者サービスについて改めて考える機会となりました。講師の方、とてもわかりやすく、これからの事業計画等の参考とさせていただきます。
- ・LDについて、自分の小1の息子が夏にLDの診断を受け、家庭での取り組む方向を模索していました。本当にありがたかったです。
- ・多くの具体例を挙げていただき、明日からでも仕事に活用できることが多くありました(学校司書)。
- ・大変有意義な時間でした、今後に生かしたい内容でした。
- ・今まで興味を持ちながらも、知ることができなかった読書バリアフリーについて聞くことができた。
- ・たくさんの知らない情報を知ることができた。
- ・知らなかったことをたくさん知れて良かったです。大学図書館に勤めているので、導入されたりするかは分かりませんが、自分でもBLUE Ver.を読みたいくらいです。読み上げる人もやってみたいと思いました。何かの理由で読書することをあきらめるということが減るととても嬉しいです。
- ・学童保育でアルバイトをしていた際、読みや計算が非常に苦手な子がいました。後々聞くと学習障害だったことが分かったので、他の児童より、細かく指導を行いました。他の子と比べないこと、スタートラインをそろえるためにも周りの理解が大切だなと感じました。現在卒業研究で図書館が行う「障害者サービス」について研究しています。障害者施設と図書館にアンケート調査を行ったところ、図書館が提供するサービスが知られていないことも課題だと分かりました。今日の講座の内容も踏まえて、更に研究を深めたいと思います。
- ・学習障害など知らなかったことをたくさん学ぶことができました。障害によって必要とされる読書の方法、図書が違うこと、またそのことをたくさんの方が知ること大事だと思いました。小さな工夫で読みやすくなる子もいるとのことなので、今日学んだことを大人たちが知ることができるように何かしていきたいです。
- ・制度改革の流れや、バリアフリー資料の概要がカバーされており勉強になりました。変化が激しい分野なので、コンテンツ(オーディオブックなど)の講義もあって良かったです。
- ・4コマの講座でこんなに詳しく、図書館利用に困難がある方への手だてを教えていただきました。特に、読書工房の本は、今までよく見ていたので、その出版社の成松先生のお話は具体的で良かった。
- ・小学校の学校司書であり、家族に読み書き障害者がいる者です。障害者にとって、読書は何が障害なのかという解説はどの先生のものも腑に落ちるものばかりでした。家族の場合、本自体には興味があったものの、障害のためかいつも一冊全てを読み切ることができていませんでした。もっと早く知っていれば、もっと寄りそえていたのかな…と思われるなりません。また今の小学生は活字を読むことを苦にしている子も多く、障害のあるなしにとらわれず、小学校の図書館にも活かせるような工夫が多いと思いました、有意義な講義でした。
- ・実際の取り組みなどが紹介されていてとても参考になった。ハード面や経済面で電子メディアをあまり活用していなかったが、障害のある方への支援として、有益だと改めて感じることができました。障害についても丁寧に説明があり分かりやすかったです。
- ・公共図書館に勤務していますが、経験が浅いので参加させていただきました。専門の4人もの先生方の講座を受けられてとても学ばせていただきました。分かりやすかったです。今後の棚づくり、取り組みの参考になりました。
- ・1コマが1時間くらいだったので最後まで集中して聞けました。先生方の話も分かりやすく、なんとなくわかったつもりでいたことをしっかり学ぶことができて良かったです。
- ・障害者サービスにもさまざまなものがあり、それぞれに必要な支援があるのだということがよく分かりました。
- ・学習で困っている子どもたちや本を楽しむことができていない子どもたちのために明日からどう支援していけばよいか考えるヒントがたくさんありました。

- ・バリアフリーとして障害者サービスがこれから提供されていけると良いと思いました。
- ・読書のバリアフリーについて、多様な視点から現状や問題点を聞いて良かった。
- ・未記入 2

やや満足の原因

- ・学校図書館に勤務しています。ディスレクシアについては以前からとても気になっていました。学校の現場では、まだあまり関心もたれていないように感じています。私も「文字を読むことが難しい」人たちがいて、スリットなどを使うと読みやすくなる、ということは聞いていましたが、「文字を読むことが難しい」とはどういうことか、どういう支援ができるのか、どうしたら楽しく本を読めるようになるか、具体的なお話をたくさん伺うことができ、大変勉強になりました。河野先生のお話をもう少し長く伺えたら良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・バリアフリーな読書について、概論的なものが聞いて良かった。ただ(今働いている)学校図書館の資料費では購入が難しいので自主的に(ロハで)製作、校内貸出できる方法がないかと考えている。今後情報があれば知りたい。例えば中高生のディスレクシアの子がライトノベルを読みたがっているが適当なものがないので、有志で読み上げデータを作って配れないかなど。
- ・バリアフリーについて立ち止まって考えるきっかけとなりました。職場に帰ったら職員と共有したいと思います。
- ・ディスレクシアの判定ができる事を知ることができた。もう少し調べ、理解し、目前の子どもの判定を(LD かな?と思い始めている子ども)してみたいと思います。
- ・読み書きを補助、代替する支援を日常ですること、できることを早急にあたり前の意識に高めていくことが必要と感じました。私たち教員の意識改革がおいついていません。
- ・通級で LD 児の指導をしています。学習障害についての話がとても参考になりました。
- ・もっと聞きたかった講義がありました。ともあれとても有意義な内容でした。
- ・学習障害、知的障害に対する援助の方法にヒントをいただきました。
- ・Ⅰ、Ⅱだけ参加。Ⅱ…学習障害の内容がよく理解できました。
- ・バリアフリー資料をもう少し時間をとって見させていだきたくったです。
- ・DAISY 図書の実践例を紹介してもらいたかった。
- ・レジュメが整っていないと集中できなくて忙しい。
- ・未記入 2

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・小さい町の図書室で臨時職員として図書の仕事に携わっています。たまたま今日は休みだったので参加させていただきましたが、充実した一日となりました。これからもどんな人でも本を楽しめる機会を持てるように私自身も心掛けて仕事していきたいと思いました。
- ・知的障害と自閉症の人への読書についてもう少し明確な切り分けが知りたかった。自閉症の人への読書支援も知りたいです。
- ・私自身は読書が好きで、図書館が好きです。「図書館のバリアフリー」はあたりまえのことなのに、今まで気づいていなかったとしみじみ思いました。
- ・資料をそろえ広報するにも予算取りが必要です。もっとこのような研修を受講する機会が欲しいです。準備等大変だったとお察いたします。
- ・河野先生のお話、まだまだあったようなので、ゆっくりもっとお聞きしたかったです。とても分かりやすく興味深いお話でした。

- ・Ⅱの学習障害って何だろうの講師の方のお話をもっと聞きたかったです。
- ・とても有意義な一日を過ごさせていただきました。
- ・市民の理解、そして活動する市民の支援、養成が必要だと思いました。若い人たちがもっと多く参加してくれると嬉しいです。
- ・障害の社会モデルの考え方の普及につれて私(たち)は障害となっているのは社会の方だという意味で「障害のある人」という表現をするようにしている。講義の中で何度か社会モデルのことも取り上げられたが、講師の方も「障害をもつ人」と表現するのだなあと気になった。
- ・毎年送っていただいているわいわい文庫をもっと活用できるようにPR活動をしたいと思います。
- ・一日で多くの講師の方々のお話をお聞きすることができ、とても貴重な機会をいただきました。まだまだ学びが足りない部分が多く、良いきっかけとなりました。少しでも困っている子どもたちに届ける支援につなげていきたいと思います。
- ・DAISYなどがもっともっと認知されて欲しいです。1テーマ50分～1時間で聞きやすかった。LLブックは初めて知りました。見本もあって、参考になりました。
- ・タブレットが個々に応じて使うことができない、アプリをインストールできないという小学校のOA機器環境の中で、どうすれば教職員または教育委員会の理解を得ることができるのかが壁です。以前DAISY教科書を使わせてもらったのですが、タブレットにはインストールさせてもらえず(教師用デスクトップパソコンにしかインストールできず)、実態に合わなかったので使えませんでした(6年前ですが…)
- ・講師の方が書籍の購入について、積極的にAmazonを進められていて、とても個人的に残念に感じました。地域の書店さんでも(時間はかかってしまいますが)注文できるものはあるのでは。とても個人的な事なので申し訳ないです。
- ・またこのような研修会を実施してください。持ち帰る事柄が多く、満足しております。
- ・会場のマイク音声が入響して聞きづらく、聞きもらさないよう焦りました。マイク、スピーカー、改善できればありがたいです。
- ・私は聴力に障害があるのですが、今回使用された部屋は、かすかにエコーがかかるようで、マイクの音声がかなり聞き取りづらかったです。
- ・マイクの音量調節は難しいと思いますが、講座の先生方の声によっては、内容の聞き取りができずに残念でした(難聴者です)。
- ・病院等の小児科で長期入院をしている子どもさんがいるようなところでも、このような情報があれば良いなと感じました。家族で病院勤務(ちょうど小児科)がおりますので紹介したいと思います。
- ・学校図書館で今後できることから始めてみようと思いました。今まで手さぐりで進めていたことにも自信をもって学校側に交渉できるようになったと思います。
- ・ぜひ学校の先生方にもお話してみようと思いました。喜ぶ子どもが自分の学校にもいると思います。今後も活動続けていっていただきたいです。
- ・2011年に山口県の図書館でマルチメディアDAISYと学習障害のことを知って以来、ディスレクシアや読書難のある人に気づけるようになった。おそらく知らないままだったら、今でもバリアフリーについて浅学なままだったと思う。活動に感謝します。
- ・大変すばらしい企画と思います。しかし全く情報が入ってこず知りあいから教えていただいて知りました。他にも知っていれば来たかったと言う人は多いと思います。残念ながら学校にお知らせがあっても、特別支援関係は、管理職が職員に知らせない現状があり(文書を回覧しない)きちんと知らせてくれるのは意識の高い人のみです。
- ・読み書き障害への理解が深まり、代読支援のコツがわかりました。学びの収穫が多い研究会でした。
- ・バリアフリー資料で図書館で取り扱っているものが現状少なく、ボランティアさんの手にゆだねられているものが多いようで、普及がなかなか難しいのかなと感じました。
- ・今日聞かせていただいた内容を持ち帰り、活動に活かす方法をメンバーとともに考えていきたいと思いま

す。また開催を楽しみにしています。

・DAISY 図書、DAISY 教科書、デジタル教科書…各々体験コーナーがあり、実際に触れる時間がもっとあると良かったです。

・学校などのお知らせを早くして欲しかった。人から聞いて知ったので。

・土曜日の開催だともっと嬉しいです。

・今日は、学ぶことが多く勉強になりました。

・新しい施設で気持ちよく受講できました。

・大変勉強になりました。

・大変充実した研究会でした。

・貴重なお話をありがとうございました。

・ありがとうございました。

・未記入：19